

**No.163**

メロン、丸い形は地球に見える？メロンのようにおいしく、その表面の網目のように
緻密なネットワークを広げる月刊情報誌をめざします！

巻頭	新年度のはじまりにあたって	…… 1	コラム	「お母さん食堂」をめぐる議論を通して考える	…… 4
報告	小学校多文化理解プログラム	…… 2	カレンダー	2021年4月の comm cafe ランチカレンダー	…… 5
報告	イベント報告「理事長と話そう！」	…… 3	お知らせ	協会・他団体からのお知らせ	…… 6

新年度のはじまりにあたって 2021年度事業の方向性について



コロナの影響と箕面市新改革プランなど、何かと先の読めない2021年度ですが、そんな中でも協会はできること、やるべきことを一つ一つ形にして、前を向いて動き始めたいと思っています。

まず第一に、協会事業の基礎となるものとして相談事業と日本語事業の拡充を進めます。ふたつの事業は、地域で暮らす外国人市民をサポートし、地域でのつながりをつくる入り口となる大切な事業です。相談事業では、ベトナム語などでの相談日を増やしたり、職員・相談員の研修を充実させるなどし、とくに就労層の外国人市民への相談体制を強化します。また、日本語事業では、日本語ボランティアを対象とした研修の拡充や、日本語ボランティアグループの連絡会（年2回）を新たに開催して、事務局とボランティアで協力して地域での日本語教育の充実を進めたいと思います。

第二に、大阪大学新箕面キャンパスの開学、船場生涯学習センター及び箕面市立文化芸能劇場の開館などが予定されている船場地域での事業展開を進めます。7月には、大阪大学の学生たちが中心となって新キャンパスで箕面国際フェスティバルの開催が予定されています。このイベントへの

協力をはじめ、新キャンパス内の空間を活用した地域交流事業や船場生涯学習センターでの講座開催などを行い、市内中部での継続的な事業づくりの一步としたいと思います。

第三に、新たな事業として、外国人市民をはじめとする多文化な背景を持つ人々の就労・起業ニーズと、人材を求めている企業のニーズをつなぐ職業紹介事業を開始する予定です。これまで行ってきた就労支援の取り組みや、地域の企業とのつながりをもとに、新しい展開を生み出したいと考えています。これも今後、継続していくものとして、人材の登録者募集、企業への説明など、はじめの一步を進めたいと思います。

その他にも、アートや演劇などを活用した地域交流の取り組み、ホームページのリニューアルなど広報体制の強化、ベトナム語での情報発信の強化などを計画しています。また、外国人防災アドバイザー事業やレイシャルハラスメントへの取り組みなど、この間、進めてきた取り組みも続きます。また、昨年度の多民族フェスティバルは中止となりましたが、今年度はなんらかの形で開催する方向を模索したいと考えています。

多文化共生の地域づくりは、協会だけで実現できるものではありません。コロナ禍で顔を合わせることが少なかった2020年度でしたが、2021年度はあらためて協働関係を紡いでいく一年にしたいと思います。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。（河合）

発行・差出人：公益財団法人箕面市国際交流協会（MAFGA）

〒562-0032 大阪府箕面市小野原西 5-2-36 箕面市立多文化交流センター内

Tel：072-727-6912 Fax：072-727-6920 E-mail：info@mafga.or.jp HP：www.mafga.or.jp

賛助会員数：318名 法人会員数：29団体（2021年3月18日現在）

小学校多文化理解プログラム

オンラインで試行錯誤中

▶ 学びが止まらない!

コロナ禍の2月24日、箕面市立西小学校5年生の教室とセンターの会議室をオンラインでつなぎ、授業が行われた。全世界的な災禍を乗り越えた先も、オンラインでの生活やビジネスは続くと言われる。ニューノーマルにあって、子どもたちの学びはどう変容するのだろうか。

▶ 【私はどこの国の人?】 (韓国 ヒョンスクさん)

英語、中国語、韓国語、講師のヒョンスクさんがそれぞれの言葉で流暢に挨拶を始めた。「私はどこの国の出身か?」と画面の向こうの子どもたちに問いかけると、反応は様々だった。見た目だけで判断はつかないのだと、まずは心の垣根を取り払うところから授業が進められる。自身は日本語を学ぶために来日したが、日本の植民地時代に朝鮮半島から意に反して連れてこられた人たちがいること、今もその子孫が大勢、在日コリアンとして住んでいることを率直に話しかける。

突然、ソウルの家庭からビデオ中継が始まった。講師の親戚のお宅だ。ユニクロやMUJIの生活用品から、日本でも大人気の絵本「おしりたんてい」、韓国が原作で日本の小学生に知らない子どもはいない「科学漫画サバイバルシリーズ」、そしてキムチ専用の冷蔵庫などが一つ一つ映し出される。

ところで、食事マナーは日韓で違う。茶碗をテーブルに置いたままの韓国、手に持つ日本。では、日韓両方の文化を受け継いで日本に住むヒョンスクさんの息子さんはどうしたらいいの?



▲ おしりたんてい

▼ 科学漫画サバイバルシリーズ



▶ 【どこでもドア】 (タイ ノックさん)

「ドラえもん」はタイでも人気がある。コロナのせいで何処にも行けない今、子どもと講師たちが離れたところでやりとりできる Zoom は、現在の〈どこでもドア〉かもしれない。国旗や通貨、ドリアンなどのアジアフルーツ、アユタヤの仏像などの写真が次々紹介される。また山岳民族であるカレン族の中には、真鍮のリングをはめて伸ばした首の長さで美を競う人々もいる。同じ国であってもそれぞれに価値観が違い、装いや習俗にも多様性があるのだ。

▶ 【4枚の写真】 (ブラジル エリアネさん)

目鼻立ちや肌の色が違う男女の4枚の写真。エリアネさんが一枚ずつ指しながら、「ブラジル人はどの人?」と訊ねる。子どもたちのうち、一人



だけがずっと手を挙げっぱなしだった。正解! みんなブラジル人だ。先住民、旧宗主国のポルトガル人に奴隷として連れてこられたアフリカ系、移民として集まったドイツ、日本、アラブ、イタリア系など、様々なルーツを持つ人々と文化がミックスされてきたのが現在のブラジルなのである。

先住民の中には未だ現代人と接したことのない人々がいるらしく、ドローンでの探索により存在が確認されたという部族の写真が印象的だった。並置された緑深き大河の航空写真を見つめつつ、それを囲む森林がどこまでも切り拓かれてよいものが沈思させられた。そのアマゾン川にブラジル人は並々ならぬ思いがあり、世界で一番長いというところは譲れない点だ。実はナイル川が世界最長らしいけど、と講師が笑いながら付け足した。

▶ 【夫婦別姓】 (中国 ジャさん)

中国は夫婦別姓である。子どもは父親の姓を名乗ることが多いが、母親の姓でもいいし、複数の子どもがいれば、それぞれ母方と父方の姓をとる場合もある。また、講師の故郷である極寒の地ハルビンの生活が興味深い。八百屋かと思ふ店先に並ぶのは、全てダンボールに詰められたアイスクャンデー。

真冬には、人々は箱買いしたアイスをおのままベランダに置いておく。部屋の中は暖かいので、冬の方がアイスクャンデーの売れ行きがよいという。年末には日本と同じように大掃除をし、また、魚の姿煮、姿焼きを食す。日本でも、尾頭つきの鯛を食べるのは同様の慣しだ。

▶【みんな地球人】

ヒョンスクさんの息子さんはどうしたらいい？「(両方の文化を受け継いで) どちらのマナーや文化も尊重する」、「日本の食事だから日本式のマナーで」、「一週間ごとに(日韓それぞれの作法で) 変える」、と子どもたちは懸命に答えていた。『絶対にこっち！』と決めなくてもいいんじゃないかな』と語りかけるヒョンスクさん。このように、どの講師も一方通行にならないよう質問を工夫し、興

味と集中力を保つように努めていた。また、高学年が対象であるため、歴史的、政治的な背景も組み込まれた構成であった。

接続トラブルや、ちょっとした「間」の取り方など、オンラインならではの難しさはあるものの、子どもたちは柔軟に対応していた。対面授業がかなうようになって、時差の少ない近隣国なら、講師の知り合いの家庭や学校と日本の教室をオンラインでつないでやりとりをするなど、学び方の可能性は広がる。

目の前にある机よりも世界はずっと広い。地球上の何処かで自分の夢を実現してほしい。協会の担当者のこの願いは、皆のものである。流布されるニュースだけが全てではない。多文化共生に向けて、子どもたちには、オンライン・オフラインを往来しつつ自らを耕し続けてほしい。(山下)



報告

イベント「理事長と話そう！」on 2/24

コロナ禍で、多民族フェスティバルを始めイベントが開催されず、センターでのボランティア活動も極端に制限された一年、そして、市民と協会職員との交流が制限された一年だった。7月に就任した前田一成理事長と市民との対話の場を設けた。

第2回目となった今回、協会ボランティアやコムカフェのシェフに加えて、これから協会と積極的に関わりたいと思う市民など11名の参加があった。まず、現在箕面市のHPで公開されている、箕面市新改革プラン(骨子の一つに当協会の統合案が言及されている)について、質問や意見が寄せられ、それに対して協会からの状況説明があった。

その後、参加者一人ひとりが協会との繋がりや想いについて語り、前田理事長は、市民の声に耳を傾けた。「ボランティアは自分が変わるきっかけになる、大切な場」と話すのは、10年以上継続的に関わりを持つ方。「外国人市民と関わる過程で、年金や福祉などの制度を勉強し、資格を取るようになった。その時はとても大変だったが、その経験がなければ今持っている知識はなかった。人のためと思っていたが、結果的に自分のためになっていた」と、語った。

また、別の参加者は、「国際交流協会というと、旧来的には異文化交流や各国の文化紹介という印象が強かったが、ボランティア活動を通じて、21世紀型の国際交流とは外国人市民を同じ地域に住む仲間として、お互いの違いを認めながらともに生きること、ともに暮らしをつくること。その架け橋となるのが、地域の国際交流協会として期待されていることでは」と話した。

「私(自宅)」と「公(職場や学校など)」との間にある、「第三の場所(サードプレイス)」としての協会は、他者との積極的な関わりを持ち、自分自身が豊かに育っていくきっかけとなる場。その意義を改めて認識し、気が引き締まる思いだった。

今後も継続的に、協会職員との対話の場を設けていくので、是非積極的に参加し、想いを聞かせてほしい。共に多文化が息づく地域をつくっていききたい。(末原)

(次回は4月10日を予定している。詳しくは6P参照。)



コラム

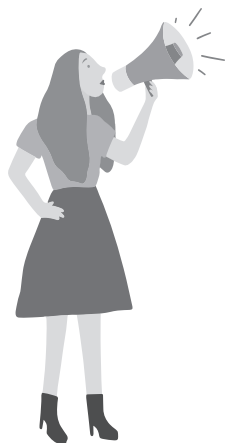
「お母さん食堂」をめぐる議論
を通して考える

最近、ネット上での話題が気になっている。高校生たちが、「お母さん食堂」というコンビニ商品のネーミングに小さな声をあげた。「料理をするのは、お母さんだけですか？」という声である。それに対してたくさんの意見がネット上に見られるが、それ自体は悪い事ではない。誰でも意見を述べる権利はある。ただ、幾つか読んで見ると、面白半分や悪意に満ちたものが多いように思う。

彼女たちは、SDGs、LGBTQ やジェンダー問題を学び始めた中で、このネーミングはもしかしたら、お父さんは外で仕事、お母さんは家で食事作りという性別役割分業の強化につながるアンコンシャス・バイアス（無意識の偏見）を助長することになるのではないかと感じたのである。

コンビニメーカーは、男女差別のつもりはない、家に帰って幼いころから食べたお母さんの味を思いだすような温かい食事、その気持ちを感じてもらえたらと、このネーミングを考えたとある。彼女たちも、特に一つの企業をやり玉にあげようとしたわけではない。「私たちはのびのびと社会で活躍していきたい。そこに男女の差があってもいい」とこれは若い女性として当然の気持ちだと思う。

しかし、今の日本の状況はどうだろう。以前、ある大学の医学部で女子の得点を不当に低くして、結果的に男子の合格率を上げたニュースが話題になった。理由は、女性はすぐ結婚して子どもを産んで仕事を辞めてしまうのに対し、男性は長く仕事を続けていけるからというものだった。なぜ、女性が働きやすい職場環境を整えようという議論にはならないのだろうか。国会の場で、女性議員が質問に立った時、「家に帰って子どもを産んでいる」とヤジを飛ばした男性議員がいたことを覚えている方も多いのではないだろうか。社会の中には、同じような差別があちこちにみられる。日本は、世界経済フォーラムが毎年発表しているジェンダー・ギャップ指数の順位が153カ国中121位だそうである。ネット上でも、同じ内容を取り上げたのが男子高校生達だったらこれほど炎上しなかったに違いないという意見があった。世間的に見ると弱い立場の女子高校生たちが、勇気をもって声をあげたのだ。私たち大人が積み残してきた社会の付けに対して、もっと真摯に受け止めてほしいと感じるのは私だけではないと思う。（井嶋）



胃腸科 内科 外科 肛門科 リハビリテーション科
おざわクリニック

診療時間	月	火	水	木	金	土
am9:00~12:00	○	○	○	○	○	○
pm1:00~3:00(胃カメラ)	□	□	□	□	□	□
pm5:00~7:30	○	○	○	○	○	○

※診療開始 30 分前から受付します。

■胃カメラは予約制です。

■休診日：土曜日午後・木曜日・日曜日・祝日

■http://ozawa-clinic.world.coocan.jp/

【住所】〒562-0023

箕面市栗生岡谷西 3-7-9 シャトー野間 1F

阪急バス停留所「空の前」スーパーマルヤス向い

□ 無料駐車場 有

TEL: 072-730-0721



エスパーロ

能勢

espero nase

フェアトレード雑貨と古民家カフェ

豊能郡能勢町地黄 476

営業時間：金～月 11:00 ~ 17:00

http://espero-osaka.com/

**箕面市国際交流協会の
多言語による生活相談窓口**

電話 072-727-6912
(日本語・英語)

メール soudan@mafga.or.jp

子育てや教育、仕事、医療、福祉、在留資格など、生活での悩みや困りごとに対応します。秘密厳守。相談は無料です。

日時：火曜日から日曜日 9:00~17:00

受付方法：来館、メール、電話

対応言語：日本語、韓国・朝鮮語、

中国語、英語、ポルトガル語

場所：箕面市立多文化交流センター

4月
April

comm cafe ランチカレンダー

コム カフェ

火～土

★朝カフェ … 09:30 ～ 11:30

★ランチタイム … 11:30 ～ 14:00

* 売り切れ次第終了します *

★午後カフェ … 14:00 ～ 17:00

日・祝日

★世界の朝ごはん (ドリンク付 660 円)

…10:00 ～ 13:00 * ランチはありません

★ランチセット (ドリンク付 510 円)

…09:30 ～ 15:00 * ランチはありません

ランチは 880 円 (税込) です。

* ランチタイムのみプラス 100 円でコーヒー・紅茶・ジュース・季節のドリンクがつけます。

●ご予約 (comm cafe 直通) 072-734-6255

☒ … スナック or スウィーツの日 ☑ … カフェで開催するイベント

各種イベントの詳細は「めろん」P 6・7 をご覧ください。

comm cafe からのお知らせ

平日もモーニングははじめました! 9:30am ～ 11:00am L.O.

◆トーストセット 510 円◆

手作り食パン、ブルガリアのアプリコットジャム、ギリシャヨーグルト、ゆで卵
NZ 産バター、ドリンク (コーヒー、紅茶、ジュースのいずれか) つき

げつようび	かようび	すいようび	もくようび	きんようび	どうび	にちようび
			1 セバルさん 《トルコ》	2 スランチセット (9:30 ～ 15:00) ☒ MAFGA スナック	3 アスドゥさん 《セネガル》	4 スランチセット (9:30 ～ 15:00) 世界の朝ごはん 《トルコ》 10:00 ～ 13:00
5 休館日	6 ティさん 《ベトナム》	7 李さん 《コリア》	8 アイリーンさん 《イラン》	9 スランチセット (9:30 ～ 15:00) ☒ MAFGA スナック	10 スランチセット (9:30 ～ 15:00) ☒ MAFGA スナック	11 スランチセット (9:30 ～ 15:00) 世界の朝ごはん 《ベラルーシ》 10:00 ～ 13:00
12 休館日	13 ノックさん 《タイ》	14 スランチセット (9:30 ～ 15:00) ☒ MAFGA スナック	15 クラウディアさん 《メキシコ》	16 洪さん 《コリア》	17 ジェニーさん 《アルメニア》	18 スランチセット (9:30 ～ 15:00) 世界の朝ごはん 《トルコ》 10:00 ～ 13:00
19 休館日	20 ホーさん 《香港》 ☑ フェアトレードにふれる ファッション編 10:00 ～ 11:00	21 李さん 《コリア》	22 ノックさん 《タイ》	23 アイリーンさん 《イラン》	24 ティさん 《ベトナム》	25 スランチセット (9:30 ～ 15:00) 世界の朝ごはん 《ベラルーシ》 10:00 ～ 13:00
26 休館日	27 いずみさん 《ベトナム》	28 スランチセット (9:30 ～ 15:00) ☒ MAFGA スナック	29 スランチセット (9:30 ～ 15:00) 祝日 ☒ MAFGA スナック	30 スランチセット (9:30 ～ 15:00) ☒ MAFGA スナック		

- ベジタリアン、ハラル、アレルギー対応については、カフェのスタッフまでお気軽にお尋ねください。
- メニューやシェフは変わることもあります。また急きょ、協会主催事業により貸切になることもあります。
- 詳細は、Facebook をご覧ください。https://www.facebook.com/mafgachallengecafe



国際交流協会 (MAFGA) からのお知らせ

下記についての問合せ・申込みは (公財) 箕面市国際交流協会まで
※開催場所: 箕面市立多文化交流センター

電話: 072-727-6912 FAX: 072-727-6920 E-mail: info@mafga.or.jp

意見交換会

4/10 (土)
15:30 ~ 17:00

理事長 & 事務局長と話そう!

市民と協会職員との対話の場を設ける。あなたにとって協会とは、ボランティアでの貴重な体験は? 地域の多文化共生を一緒に作っていくために、意見交換をしましょう。今回は事務局長も参加します。

定員: 10 名 (要申込み)

場所: ミーティング室

参加費: 無料

読書会

4/11 (日)
10:30 ~ 12:00

多文化共生理解のための読書会

「わたしもじだいのいちぶです

川崎桜本・ハルモニたちがつづった生活史」を読む。

本を読んで集まり、感じたこと、考えたことを話しましょう。

定員: 10 名 (要申込み)

場所: ミーティング室

参加費: 無料

読書会

4/18 (日)
14:00 ~ 16:00

Sunday Book Review

英語の原書を一緒に読みましょう!

読む本: The Remains of the Day / 日の名残

著者: Kazuo Ishiguro / カズオ イシグロ

場所: ボランティア活動室

参加費: 300 円 + ドリンク代

申込み: 初参加の場合要申込

連続企画

4/20 (火)
10:00 ~ 11:00

フェアトレードにふれる ファッション編

公正で公平な取引 (フェアトレード) がなぜ大切なのか、商品を実際に手にして、その背景の物語にふれる。

バングラデシュでのラナプラザ崩壊事件を考える

ファッション レポート・ウィークにあわせて開催!

◎斎藤 和子 (みのおフェアトレードの会 楓)

定員: 10 名 (要申込み)

場所: comm cafe

参加費: 無料

別途ドリンクの注文が必要 (¥300 ~)



セミナー

春の多文化ボランティアセミナー

5/15 (土)
13:30 ~ 16:00

13:30-14:00 国際交流協会の紹介

◎講師: 公益財団法人箕面市国際交流協会 職員

14:00-16:00 あらためて考える「ともに生きる」

～社会のあり方とわたしの立ち位置から～

◎講師: 栗本敦子 (Facilitator's LABO <えふらぼ>)

5/29 (土)
14:00 ~ 17:00

14:00-16:00 そもそもハーフって呼び方ってどうなの?

～多文化共生とレイシズムを考える～

◎講師: ケイン樹里安 (社会学者・都市文化研究センター研究員)

16:00-17:00 ボランティア活動紹介

◎ボランティア団体が活動の紹介を行います。

定員: 25 名 (要申込み)

場所: 講座室

参加費: 550 円 / 日

賛助会員: 無料

保育あり



大切な
お知らせ

4 月から賛助会員制度が変わりました!

- ① 個人会員 (2,000 円) が廃止となり、税額控除が受けられる個人寄付会員 (3,000 円) と、法人会員 (10,000 円) に統一されます。
- ② インターネット上からクレジットカード決済での入会手続きが可能になります。

唐木幸子バレエスタジオ ～箕面の地で 40 年の歴史～

*バレエコース: 「ロシア国立ペルミバレエ学校日本校」のバレエ教授法取得証明書 (Dipolma) や、日本徒手療法師会より「徒手療法師」の資格認定を与えられた姿勢調整師でもある指導者が、丁寧に分かりやすく指導致します。「バレエは芸術」として長く続けられるように、また中高生には学業と両立できるよう配慮しています。3 才～80 才位の年齢層まで、目的に合わせて気軽に楽しく始められます。

*健康コース: 徒手療法師の資格を持ったバレエ指導者 (姿勢科学士) が健康維持を目的とした姿勢調整を致します。

〒562-0041 箕面市桜 4-1-24 阪急牧落駅西側右斜め前 (駅より 30M)

072-721-6300 / 721-2576 <http://www.karaki-sachiko-ballet.com/>

(公社) 日本バレエ協会会員・AODT 会員



他団体からのお知らせ

問合せ・申込みはそれぞれの各団体へお願いします。

みんぱく
開催中～
5/18 (火)

特別展「復興を支える地域の文化- 3.11 から 10 年」
東日本大震災から 10 年が経つ今、豊かな社会の礎となる地域文化の大切さとその継承について考える。
会期中、映画会やシンポジウムなど関連企画多数開催
＊特別展の観覧料で、本館展示も観覧可

場所：国立民族学博物館
(吹田市千里万博公園 10-1) 
開館時間：10～17 時 水曜閉館
観覧料：大人 880 円 大学生 450 円
高校生以下無料
問合せ：06-6878-8210

オンライン
4/4 (日)
15:00～17:00

プンクトゥム：乱反射のフェミニズム
『移民・難民・外国ルーツの女性や性的マイノリティとともに生きるために』
アイデンティティの複合性や交差性から構造的差別を考える。
話題提供者：春日そら (#FREEUSHIKU) × 高谷幸 (社会学者、NPO 法人移住者と連帯する全国ネットワーク理事) × 崔江以子 (在日朝鮮人 3 世、川崎市ふれあい館職員) × 長島結 (#FREEUSHIKU)

場所：オンライン
(Zoom)
参加費：500 円
主催・申込・問合せ：
NEW ERA Ladies
neweraladies@gmail.com



まなびカフェ
4/14 (水)
18:00～19:30

バベル☆カフェ 第一弾！
～アジアの新年のすごしかたを知ろう～
アジアには 4 月中旬に新年を迎える地域があります。え？4 月に新年？
どうということ？そんな疑問を、阪大の留学生たちが答える。
◎スリランカ、ミャンマー、タイの留学生

場所：らいとぴあ 21
1F 展示コーナー
(箕面市萱野 1 丁目 19-4)
参加費：無料
主催・申込：らいとぴあ 21
TEL：072-722-7400

講演会
4/18 (日)
14:00～16:00

TIFA グローバルサロン「明子さんの被爆ピアノから平和を考える」
広島原爆でわずか 19 歳で命を落とした河本明子さんが愛奏していた被爆ピアノから「愛と平和」を考える「明子さんのピアノ」活動を知る。
◎二口とみえ (一般社団法人 HOPE プロジェクト)

場所：すてっぷ
(とよなか男女共同参画推進センター)
参加費：500 円
定員：20 名
主催・申込：06-6840-1014
TIFA 国際交流の会とよなか 

映画祭
5/1 (土)
～7 (金)

イスラーム映画祭 6
日本初上映から、アンコール作品まで、「イスラーム」をキーワードにさまざまな背景をもつ 14 作品を上映。ここでしか見ることのできない作品ばかり！
各回主催者による解説あり。ゲストトークも充実。

場所：元町映画館
(神戸市中央区元町通 4-1-12)
参加費：1 回券 1,500 円
3 回券 3,900 円 他
主催・問合せ：イスラーム映画祭 

講演会
5/8 (土)
14:00～16:00

“聴く” ことの持つ力と子どものエンパワメント
「安心・自身・自由」という言葉で人権＝「生きる力」を子どもにも伝えるように伝える人権教育 CAP プログラム。子どもの気持ちを受け止める「聴くことのできる大人」が地域にいることの大切さと子どもの「エンパワメント」について学びながらまちづくりを考える。
◎森田ゆり (エンパワメント・センター主宰)

場所：すてっぷホール
(とよなか男女共同参画推進センター)
参加費：無料
主催・問合せ：
(一財) とよなか人権文化まちづくり協会
TEL：06-6841-5300

2021 年度 国際理解のための語学講座 受講者募集！

今、この世界で、地域で何が起きているのかを、もう少し広く知るために、「言語」を学んでみませんか。
初めての方も、または学びなおしの方も、そして継続される方も大歓迎です。

講座開始時期： 4 月 6 日～順次



coupe de Minami

スクール coupe de MINAMI 南プロカッティング研究所

町屋で楽しく洋服をつくってみませんか？



ボディに布を直接
のせて服をつくって
みましょう！
(立体的裁断)

南正枝 プロフィール (略歴)

昭和 42～45 年 フランス・パリの洋裁学校にて立体的裁断、
デザイン等を修得

昭和 45～47 年 カネボウ Christian Dior アトリエでデザイナー

昭和 47 年以降 大学および専門学校での講師経験多数

◆リフォームや服のお仕立てもいたします！ ◆パターンや立体的裁断も教えます。 ◆詳細はホームページあるいは下記まで直接お電話ください！

●問合せ：〒562-0012 箕面市白島 2-2-30 電話 / FAX 072 (721) 4151
E-mail info@coupe-de-minami.com URL http://www.coupe-de-minami.com

めろん編集ボランティアスタッフ募集中!

「めろん」は箕面市国際交流協会と協会ボランティアが協働し、地域の多様性を高める情報をみなさんにお届けしています。取材に行ったり、記事を書いたり、誌面をいっしょに作るボランティアを募集しています。イベントやセミナーの企画や勉強会なども行います。多文化共生に関心のある方、ぜひご参加ください!! 会議の日程は変更になる場合がありますので、参加される際は、事前に協会までお問合せください。

めろんの広報にご協力ください!

「めろん」をより多くの方に知ってもらうために、自治会やPTA、同窓会、研修、セミナーや授業など様々な催しで、地域から多文化共生を考えるためのツールとして配ってくださいますか。置いてくださるお店なども大歓迎! フォームから必要事項を記入ください。



編集後記

何年もの間「めろん」を支えてきた仲間のひとりが編集部を去ることになった。取材し記事を書くだけではなく、時には編集までもやってくれていた若手(平均年齢が少々高い編集部の中では)を失うことは、「めろん」にとって大きな損失であり、その穴を埋めることは容易なことではないことを、私たち編集部はみんな感じていると思う。何故このようなことが起きてしまったのか。精神を込めて関わってきたこの「めろん」を去る決心をしてまでして残したメッセージを、私たちはどのように受け止め、どのように紐といて行けばいいのか真剣に考えなければならない。

幸い「めろん」には、話す場と書く誌面が与えられている。しかしそこには少なくとも少数派又は弱者に対し大きな責任を伴うことを忘れてはならない。だからこそ私たちは、責める議論ではなく、誌面を通し読者の皆さんに伝えるべきことや勇気を持って伝えなければならないことがある時に、自分が発した言葉や書いたものに対し常に疑問を持って悩む謙虚さを持たなければならないし、その上、流れる時代にブレない軸を作るための大いなる議論を惜しんではいけない。その上で紡ぎ出されたことばを誌面に載せてこそ、読者と一緒に時を歩める「めろん」になっていくのではないのか。

「言っても聞いてくれない」、「反応がない」、「一体いつまで同じことを言わせるつもりなのか」、「なぜなのか」と、失意の中自分を責めつづけながら話すことを止めてしまった人(たち)がいることを、又その中でも今なお声をだし続けている当事者たちの心の叫びを、編集部の皆は理解し決して忘れてはならない。(崔)

アクセスマップ



オレンジゆずるバス

- (平日・土曜) 黄ルート「多文化交流センター前」
または赤ルート「小野原南」から西へ約550m
- (日曜・祝日) 緑ルート「小野原西五丁目」から西へ約200m
※「多文化交流センター前」には停まりません。

阪急バス

出 発	バス番号	最寄バス停
千里中央 北千里方面から	30, 51, 55, 56 58, 59, 66, 79	① 小野原
		② 小野原西
	175, 176	③ 小野原南
	70	④ 小野原西5丁目
	70, 78	⑤ 関西学院千里国際キャンパス
阪急石橋から JR茨木方面から	70, 78	① 小野原 ② 小野原西

「めろん」編集スタッフ

【ボランティア】井嶋眞佐子、荻野克彦、崔聖子、平沢清美、山下三千世、結城なお、鷺尾則昭

【事務局】宇治野清隆、岩城あすか、河合大輔、末原真紀、炭野洋子、鳥羽山良平

問合せ：(公財) 箕面市国際交流協会 〒562-0032 箕面市小野原西5-2-36 多文化交流センター

Tel : 072-727-6912 Fax : 072-727-6920 E-mail : info@mafga.or.jp

HP : www.mafga.or.jp FB : facebook.com/Mafga みのお多言語ポータル : http://portal.mafga.or.jp/